



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行：令和5年 10月
■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者：理事長 中尾清一郎
■編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2023-10 Vol. **39**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「かみさまがすまう森」

数年前、友人に連れられて御船山のイベント「チームラボ かみさまがすまう森」へ出かけました。山の風景や茶屋を光で彩った景色はあまりにも綺麗で、妻に見せて「私も行きたい」と言わしめたのが表紙にもなっているこの写真です。それから毎年「神様へ会いに行こう」と言っは、この景色を眺めに出かけます。皆さんもぜひ一度、神様を訪ねてみてはいかがでしょうか。ただし、山道ですので歩きやすい服装で。



巻頭言...2

REPORT...3

事業所 TOPICS...4～5

R4年度 決算報告...6

タイムス特集...7

教えて!〇〇先生 リレーコラム...8

ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ...8

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター好学校舎 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島こどもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



変遷をたどる

佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮
副施設長

真 崎 小百合

先のことはわからない。今年還暦を迎えるが、残酷な時の流れの速さに圧倒される。

40年ほど前私がまだ若かりし頃、福祉とは無縁の企業に就職した。今は死語になったのだろうか俗に言うOLだった。この頃世はバブル真っ只中、国民全員が富裕層にでもなったかのような錯覚に陥り賑やかな毎日を送っていた。かく言う私も、仕事終わりには、友人、同僚と、社会人になって許された5時以降の楽しみに、先のことは考えず毎日を謳歌していた。その数年後これも死語になったのであろうか、寿退職し専業主婦におさまった。社会から離れ、家事をこなして1日が終わる単調な毎日でもこれはこれで新鮮に感じた。この頃バブル崩壊、世の中が一変した。先のことはわからない。一番下の子供が幼稚園に行き出した頃、短時間ではあったが小学校の図書館司書として働き出した。久しぶりの解放感を感じた。

先のことはわからない。それから数年後障害者支援施設の指導員の仕事の話をいただいた。全く畑違いの仕事で戸惑ったものの、やってみれば意外と向いているのではないかと感じた。時は措置制度から支援費制度、障害者自立支援法に移行真っ只中で施設自体が何かと目まぐるしかった。そうこうしていくうちに仕事を覚え数年が経過していった。ちょうどその頃当法人が県内初の民間移譲に名乗りを挙げ、救護施設県立日の隈寮が佐賀整肢学園かんざき日の隈寮へと、県内第一号の民間移譲施設となろうとしていた。新規採用試験を受けさせていただいた。新卒の若い採用者の中で正直浮いていたと思う。

それから16年が経過し今に至るが、思い出深いエピソードは数えきれないほどになった。こうして働かせていただいているのは、寛容な上司、部下のおかげと感謝の意しかない。立ち上げの頃より現在に至るまで、日の隈寮の入所者は変化していった。重複障害の人々や精神障害者の人々、アルコール・薬物依存症、摂食障害、窃盗症（クレプトマニア）、ホームレス状態、DV被害者、他の専門施設で受け入れが困難な人々等多岐にわたって受け入れてきた。

日の隈寮は救護施設であるが、救護施設の前身はるか昔、奈良時代聖徳太子が作った悲田院と言われており、四天王寺の四箇院（敬田院、施薬院、療病院、悲田院）の中の一つで、仏教の慈悲の思想に基づき、貧しい人や孤児等のために作られたものだという。救護施設自体の歴史も古く、戦前から生活に困窮する人々への支援を行ってきた。法的位置付けは変遷し戦前の救護法から戦後の旧生活保護法に変

化し、その後新生活保護法により、救護施設は保護施設（救護施設、更生施設、医療保護施設、授産施設、宿所提供施設）の一つとして定められた。近年障害者はそれぞれの施設に移すべきであると言われ、20～30年先には現在ある救護施設の役割、使命はいずれ終わるとも言われていた時期もあったそうだが先のことはわからない。生活保護法の保護施設は、そのほとんどがピーク時の施設数よりも少なくなっている中、救護施設だけが減少せずにいる。障害者分野の専門施設が充実してきている現在においてもその数は減っていない。生活困窮に陥る背景には障害又はそれに類似するグレーゾーンの方達の生活力の不足などがあるのかもしれない。

生活困窮者自立支援法が平成25年に成立し、平成27年4月から「生活困窮者自立支援制度」がスタートした。複雑な課題を抱えて現行の制度だけでは自立支援が難しい方への生活全般にわたる包括的な支援を提供する仕組みを整備するために施行された。これに伴い当施設では就労支援のノウハウを生活困窮者の自立支援に提供できる機会と考え、就労訓練事業を開始し、独自の緊急一時受入事業で住まいに困った困窮者に一時的な住まいの提供を行なっている。あらゆる障害者を幅広く受け入れるセーフティーネットとしての機能を今後も維持し、多様なニーズに対応しつつ、居宅生活を送る困窮者に対する就労訓練の場、被保護者に至る前のシェルターとしての施設の空室活用など、地域の生活困窮者に対しても展開することで、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築している。先のことはわからない。今後もセーフティネット施設としての役割を果たしていこうと舵を取った矢先、令和2年より施行された日常生活支援住居施設の行く末は、これからの救護施設の大きな課題になってくると想像される。

コロナ禍が3年目に突入し2類から5類に代わったものの、依然感染は広まっており、ウクライナでの戦争は終わりが見えず、10年前には考えられない異常気象による気候災害が迫り来る状況を毎日のように突きつけられる。土砂崩れを起こした山腹、土砂が溜まって川底が浅くなった川を眺めるたび、地球が崩れていく恐怖に駆られる。グローバルサプライチェーンの混乱やインフレーションなど、さまざまな問題に直面するいま、希望を持続けることは、かつてないほど重要になっていると思う。この先今まで以上に想像のつかない変化が待ち受けているかもしれない。多様な課題に対応できる柔軟性を持った組織として、その一員として尽力していきたい。

研究会

令和5年度九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会



施設長部会



看護部会

九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会が、7月20日から21日にかけて、佐賀県で開催されました。この会議は、九州沖縄地区の重症心身障害施設が療育向上を図る目的で毎年開催されています。新型コロナウイルス感染症対策の影響でここ数年はオンラインでの開催が続いておりましたが、今年は久しぶりの対面開催となり、九州沖縄各地から24施設97名の方々にご参加いただきました。

今回は、佐賀整肢学園こども発達医療センターとシャトー文雅を会場とし、施設長部会・看護部会・事務部会それぞれに分かれて2日間協議を行いました。新型コロナウイルス感染症への対応、外国人雇用を含めた人材確保、看護業務の効率化、施設整備（建替え）、医療費請求方法など、多岐にわたり意見交換・研究協議が行われました。

この研究会を通して、施設間の交流の大切さを実感すると同時に、改めて九州沖縄地区の絆の強さを感じることが

できました。次年度は大分県で開催される予定です。また、10月には九州沖縄地区重症心身障害施設医療事務研修会を佐賀県で開催予定であり、今後もこのような機会を多く持ち施設間の情報交換を図り、施設運営の向上に役立てたいと思います。

（こども発達医療センター 事務長 石井 茂吉）



事務部会

役員人事

社会福祉法人 佐賀整肢学園 役員人事について

令和5年度定時評議員会が6月29日に開催され、前常務理事の寺崎敏光氏が理事を退任され、山田秀男氏が法人事務局経営指導室長及び新理事として就任されました。

また、同日より森英明理事が新たに常務理事に選任されました。



山田 秀男 理事

昭和52年4月 佐賀県庁入庁

平成20年7月 佐賀県統括本部
危機管理・報道監

平成23年2月 財団法人佐賀県総合保健協会
常務理事兼事務局長

平成29年4月 公益財団法人
佐賀県健康づくり財団事務局長

平成30年4月 公益財団法人
佐賀県健康づくり財団顧問



5月に小城公園の散策を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で生活が一変し、今まで行えていた行事等も中止や縮小が相次ぎました。そのため、利用者の皆さんも外出できる機会が減ってしまい、ストレスを感じる生活を送られていたと思います。

久々の外出で遠出ができ、参加された利用者の皆さんは満面の笑みを浮かべておられました。天候も良く空気も気持ち良かったので、「外出できて嬉しかあ〜」等の声が聞かれ



ました。

私たち職員も、利用者の皆さんの笑顔が嬉しく、少しずつではありますが、やっと本来の生活を取り戻すことができて安心しています。これからも、利用者の皆さんが楽しみのあるような日々を過ごせるよう支援させていただきたいと思います。

(入所サービス課 係長 福良 一典)



5月18日に春まつりを行いました。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、日舞クラブ講師をしていただいている藤間静浄先生とそのお弟子さんを数年ぶりにお呼びし、祝舞を披露していただきました。利用者の皆さんは久しぶりに日舞を觀賞し、また先生方との交流を大変喜ばれていました。

職員出し物では、新人職員を中心としたキレキレのダンスに会場は大いに盛り上がりしました。その後の抽選会では、利用者の皆さんは豪華賞品を目にして「誰に当たるだろう」とドキドキワクワクの時間を過ごされていました。当選記念の写真撮影ではマスク

の下からも素敵な笑みが溢れていました。

お昼には和食料理店の豪華なお弁当を提供しました。利用者の皆さんは「おいしそう!」「すごい!」と驚かれ、舌鼓を打たれていました。食後には、「おいしかった」、「また食べたか」と職員に言いに来られる方もおられ、大変満足された様子でした。

(入所サービス課 生活支援員 天本 薫)



5月29日に神崎市にある「しょうちゃんラーメン」様の協力のもと、ラーメン会を実施しました。オックスから10分程の距離にあるしょうちゃんラーメンは、地元の方からも人気が高いラーメン店です。今回、お店のファンである職員が、大将の浅井様へラーメン会のオファーをしたところ、快くお引き受けくださり実現しました。

当日は食堂の一角に厨房を再現し、お店の暖簾も掛けさせてもらいました。寸胴鍋に入ったスープに火を入れると、食欲をかきたてる豚骨の匂いが広がり、あっという間に食堂がしょうちゃんラーメンの雰囲気へと変わりました。入所の方だけでなく、グループホームと放課後等デイサービスの利用者の方にも提供を行いました。大将自ら麺を茹で

てくださり、湯切りの音が聞こえ始めると、どの利用者の皆さんも待ちきれない様子でわくわくしていました。

ラーメンの提供が始まり、ひとくち食べられると「熱々で美味しい!」とあちこちから聞こえ、皆さんあっという間に完食されました。利用者の皆さんからは、「お店のラーメンを食べることができて嬉しかった。」「また食べたい。」「スープも全部飲み干したよ。すごく美味しかった。」といった声をたくさんいただきました。大将の浅井様も「ありがとう」と笑顔で返されていました。

今後も、利用者の方の思い出に残る行事を職員一同協力して企画を行い、地域の方々とも交流できるように努めていきたいと思います。

今回の企画にご協力いただきました「しょうちゃんラーメン」の大将浅井様、本当にありがとうございました。

(入所サービス課 生活支援員 佐藤 真理奈)



事業所 TOPICS

(5月～9月)

夏祭り

7月

からつ医療福祉センター

からつ医療福祉センターでは、7月29日に夏祭りを行いました。コロナ禍のためここ数年は夏祭りを各部署別々で行っていましたが、今年は4年ぶりにセンター全体での開催となりました。当日はカレーや焼きそば、射的にくじ引きなど8種類の出店がならび、利用者の皆さんとご家族が一緒になって久しぶりの夏祭りを楽しまれていました。会場では出店の利用を前半と後半の2回に分ける、参加されるご家族には入り口での検温とマスクを着用していただく等の感染対策を行いました。



また、各部署でもお神輿やお化け屋敷など趣向を凝らしたイベントが行われ、出店以外にも大いに盛り上がりを見せていました。暑い中での開催ではありましたが、会場ではたくさんの笑顔があふれ、元気な子供たちの声や久しぶりにご家族と楽しい時間を過ごされている利用者の皆さんの姿がありました。

夏祭りの由来には諸説ありますが、疫病退散を願うという意味も込められているそうです。最近ではコロナ禍により季節感を味わえる行事が少なくなりつつあります。来年はもっとたくさんの方に夏祭りを楽しんでいただきたいです。
(入所サービス課 生活支援員 岩本 忠)

夏祭り

8月

こども発達医療センター



生活介護わたぼうしでは、サービスの1つとして療育活動を行っています。体を使った遊びやマッサージ、音楽を用いたリラクゼーションなど活動の種類は多岐にわたり、利用者の皆さんの状態に合わせて実施しています。また、運動会やクリスマス会など季節を感じていただける内容を企画しています。まだコロナの影響が続いており、外出や大勢の人が集まる場所に行くことはできませんが、わたぼうしのホール内で和気あいあいと過ごしています。

今回は夏の雰囲気味わっていただく為に、8月末に夏祭り週間を設けました。射的、金魚すくい、ピンボールの3つを用意し、お祭り風のBGMを流しながら、屋台を楽しみました。利用者の中には、言葉によるコミュニケーションは難しい方もいらっしゃるのですが、職員は表情や様子から感情を読み取ることが多いです。

今回の夏祭りでも利用者の皆さんの笑顔や楽しむ様子をたくさん目にすることができ、職員も自然と笑みがこぼれ、みんなで一緒に楽しむことができたと感じました。

今後も利用者の皆さんと共に楽しい時間を過ごしていけるよう、様々な療育活動を行っていききたいと思います。
(在宅支援課 生活支援員 宮崎 翔太郎)



敬老式典・職員永年勤続表彰

9月

佐賀向陽園・わいわい



9月18日に敬老式典と開園祭を行い、あわせて職員永年勤続表彰も執り行いました。

今年度は喜寿5名・還暦1名が対象者です。今年度は約4年ぶりに集合形式で式典を行いました。本来ならば、ご家族・親しき友人を招き執り行われた大事な敬老式典ですが、感染症対策の為、お祝いのメッセージをいただきました。ご家族やご友人の近況を知り「どうしてたか心配してた。元気そうで嬉しい」と利用者の方より安心した声が聞かれました。

敬老式典後はお祝いのお弁当とケーキバイキングを用意し、利用者の皆さんは「とても美味しか。全部食べたよ。ありがとう」と笑顔で話されていました。本人希望の洋服やお菓子を敬老記念品として贈り、利用者の方からは「ありがとう。嬉しい」と喜びの声をいただきました。

職員永年勤続表彰に関しては、対象の職員11名の表彰を行いました。おめでとうございます。そしてこれからもどうぞよろしくお願いします。

これからもひとつでも多くの楽しみを持っていただけるよう、楽しい行事を提供していきたいとお身体を大切に、健康に長生きして下さることを職員一同願っています。

(佐賀向陽園・わいわい 在宅サービス課 主任 宮本 稔也)



決算報告

法人全体の令和4年度決算は次のとおりであり、6月29日の定時評議員会で承認されました。
(社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点)
令和4年度の資金収支差額は61,567千円であり、サービス活動増減差額は212,392千円の減収となりました。
また、純資産は187,009千円の増額で約175億円となりました。

資金収支計算書

単位：千円

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	介護保険事業収入	620,599	605,794	14,805
	老人福祉事業収入	204,156	200,970	3,186
	児童福祉事業収入	220,672	218,764	1,908
	保育事業収入	6,894	6,802	92
	就労支援事業収入	9,400	4,396	5,004
	障害福祉サービス等事業収入	2,186,610	2,149,160	37,450
	生活保護事業収入	266,012	266,180	△ 168
	医療事業収入	3,010,149	2,933,587	76,562
	私的契約事業収入	7,911	8,962	△ 1,051
	経常経費寄附金収入	5,507	5,698	△ 191
	受取利息配当金収入	12,572	12,806	△ 234
	その他の収入	18,106	15,649	2,457
	事業活動収入計(1)	6,568,588	6,428,767	139,821
	人件費支出	4,509,314	4,416,354	92,960
	事業費支出	876,311	832,584	43,727
	事務費支出	541,069	461,460	79,609
	就労支援事業支出	9,400	8,942	458
	利用者負担軽減額	1,673	1,556	117
	その他の支出	2,150	2,140	10
	事業活動支出計(2)	5,939,917	5,723,036	216,881
施設整備等による収支	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	628,671	705,731	△ 77,060
	施設整備等補助金収入	27,461	26,199	1,262
	固定資産売却収入	524	524	0
	施設整備等収入計(4)	27,985	26,723	1,262
	設備資金借入金元金償還支出	2,760	2,760	0
	固定資産取得支出	140,213	125,475	14,738
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
	その他の施設整備等による支出	50	50	0
	施設整備等支出計(5)	143,023	128,285	14,738
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 115,038	△ 101,562	△ 13,476
その他の活動による収支	長期貸付金回収収入	2,017	1,917	100
	積立資産取崩収入	109,978	85,704	24,274
	その他の活動による収入	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	111,995	87,621	24,374
	長期貸付金支出	5,229	3,978	1,251
	積立資産支出	634,386	626,245	8,141
	その他の活動支出計(8)	639,615	630,223	9,392
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 527,620	△ 542,602	14,982
	予備費(10)	3,407	—	3,407
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 17,394	61,567	△ 78,961

前期末支払資金残高(12)	2,111,193	2,111,186	7
当期末支払資金残高(11)+(12)	2,093,799	2,172,753	△ 78,954

貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産(1)	2,448,428	2,377,571	70,857
現金預金	1,469,742	1,422,685	47,057
有価証券	0	0	0
事業未収金	912,708	920,480	△ 7,772
未収金	0	0	0
未収補助金	17,746	16,638	1,108
医薬品(2)	4,671	4,942	△ 271
立替金	654	87	567
前払金	1,967	1,897	70
前払費用	7,196	7,575	△ 379
(ワンyearルール流動資産の合計)(3)	0	1,061	△ 1,061
1年以内回収予定長期貸付金	0	1,061	△ 1,061
仮払金	3,748	2,206	1,541
その他の流動資産	29,997	0	29,997
徴収不能引当金(4)	0	0	0
固定資産	15,541,297	15,418,253	123,043
基本財産	7,615,297	8,003,241	△ 387,944
土地	1,774,367	1,774,367	0
建物	5,840,929	6,228,873	△ 387,944
その他の固定資産	7,926,000	7,415,013	510,987
土地	629,054	595,697	33,358
建物	167,142	179,393	△ 12,251
構築物	377,120	418,778	△ 41,658
車輛運搬具	20,058	26,884	△ 6,826
器具及び備品	228,194	227,270	925
権利	3,112	3,474	△ 362
預託金	3,859	3,920	△ 61
ソフトウェア	8,874	8,679	196
長期貸付金	9,520	6,398	3,122
役員退職慰労引当資産	2,040	1,930	110
退職給付引当資産	41,739	33,678	8,060
(積立預金の合計)	6,431,880	5,899,544	532,336
運営資金積立資産	929,329	886,863	42,466
土地購入積立資産	556,000	532,000	24,000
建設準備積立資産	725,000	540,000	185,000
人件費積立資産	66,500	66,500	0
修繕積立資産	588,500	543,000	45,500
備品等購入積立資産	329,678	310,808	18,870
減価償却積立資産	3,119,000	2,906,500	212,500
リスク対策積立資産	51,459	47,459	4,000
移行時特別積立資産	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立資産	55,000	55,000	0
その他の積立資産	413	413	0
差入保証金	50	0	50
長期前払費用(5)	3,328	9,337	△ 6,009
その他の固定資産	30	30	0
資産の部合計	17,989,725	17,795,824	193,901

事業活動計算書

単位：千円

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	605,794	618,899	△ 13,105
	老人福祉事業収益	200,970	199,875	1,095
	児童福祉事業収益	218,764	213,539	5,225
	保育事業収益	6,802	5,561	1,241
	就労支援事業収益	4,396	3,514	881
	障害福祉サービス等事業収益	2,149,160	2,112,166	36,994
	生活保護事業収益	266,180	261,323	4,857
	医療事業収益	2,933,587	3,043,230	△ 109,644
	私的契約事業収益	8,962	12,112	△ 3,150
	経常経費寄附金収益	5,698	3,566	2,132
	サービス活動収益計(1)	6,400,312	6,473,787	△ 73,474
	人件費	4,421,664	4,299,583	122,081
	事業費	832,956	784,922	48,034
	事務費	461,358	480,036	△ 18,677
	就労支援事業費用	8,942	8,326	616
	利用者負担軽減額	1,556	1,735	△ 179
	減価償却費	539,178	552,151	△ 12,973
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 172,605	△ 172,621	16
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	6,093,050	5,954,133	138,917
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	307,262	519,654	△ 212,392
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	12,806	10,945	1,860
	その他のサービス活動外収益	15,919	12,602	3,317
	サービス活動外収益計(4)	28,725	23,548	5,177
	費用			
	その他のサービス活動外費用	2,140	719	1,421
	サービス活動外費用計(5)	2,140	719	1,421
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	26,585	22,829	3,756
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	333,847	542,483	△ 208,636
	施設整備等補助金収益	26,199	37,100	△ 10,901
特別増減の部	固定資産受贈額	524	0	524
	特別収益計(8)	26,723	37,100	△ 10,377
	固定資産売却損・処分損	922	1,154	△ 232
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△ 604	0	△ 604
	国庫補助金等特別積立金積立額	26,199	37,255	△ 11,055
	特別費用計(9)	26,517	38,408	△ 11,891
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	206	△ 1,308	1,514
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	334,053	541,174	△ 207,122
	前期繰越活動増減差額(12)	8,292,490	8,460,640	△ 168,151
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	8,626,542	9,001,815	△ 375,272
繰越活動増減差額の部	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	84,500	159,595	△ 75,095
	その他の積立金積立額(16)	616,870	868,920	△ 252,049
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	8,094,172	8,292,490	△ 198,318
	収益			
	受取利息配当金収益	12,806	10,945	1,860
	その他のサービス活動外収益	15,919	12,602	3,317
	サービス活動外収益計(4)	28,725	23,548	5,177
	費用			
	その他のサービス活動外費用	2,140	719	1,421

単位：千円

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債(6)	500,902	499,420	1,481
事業未払金	242,152	238,577	3,574
(ワンyearルール流動負債の合計)(7)	2,760	2,760	0
1年以内返済予定設備資金借入金	2,760	2,760	0
1年以内返済予定リース債務	0	0	0
預り金	504	179	325
職員預り金	30,669	29,473	1,196
前受金	3	0	3
前受収益	990	990	0
仮受金	15	501	△ 486
賞与引当金(8)	223,810	226,940	△ 3,131
※当期末支払資金残高(1)-(2)-(3)-(4)+(5)-(6)+(7)+(8)	2,172,753		
固定負債	66,549	61,138	5,410
設備資金借入金	22,770	25,530	△ 2,760
リース債務	0	0	0
役員退職慰労引当金	2,040	1,930	110
退職給付引当金	41,739	33,678	8,060
負債の部合計	567,450	560,559	6,892
純資産の部			
基本金	29,492	29,492	0
基本金	29,492	29,492	0
国庫補助金等特別積立金	2,866,731	3,013,740	△ 147,010
国庫補助金等特別積立金	2,866,731	3,013,740	△ 147,010
その他の積立金	6,431,880	5,899,544	532,336
運営資金積立金	929,329	886,863	42,466
土地購入積立金	556,000	532,000	24,000
建設準備積立金	725,000	540,000	185,000
人件費積立金	66,500	66,500	0
修繕積立金	588,500	543,000	45,500
備品等購入積立金	329,678	310,808	18,870
減価償却費積立金	3,119,000	2,906,500	212,500
リスク対策積立金	51,459	47,459	4,000
移行時特別積立金	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立金	55,000	55,000	0
その他の積立金	413	413	0
次期繰越活動増減差額	8,094,172	8,292,490	△ 198,318
次期繰越活動増減差額	8,094,172	8,292,490	△ 198,318
(うち当期活動増減差額)	334,053	541,174	△ 207,122
純資産の部合計	17,422,274	17,235,265	187,009
負債及び純資産の部合計	17,989,725	17,795,824	193,901

- 減価償却費の累計額 7,721,442,439 円
- 徴収不能引当金の額 0 円

佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、からつ医療福祉センターの外国籍の生活支援員第1号チー レ レ ウーさんに、出身国ミャンマーの紹介や日本での過ごし方について語っていただきました！

Q ミャンマーはどんな国ですか？

A 気候は日本ほど夏と冬の気温の差がなく住みやすいです。地域にもよりますが、半袖や薄手の長袖で過ごすことができます。私が住んでいたバゴーは雪も降りますが、ほとんど目に見えずに積もることはありませんでした。有名なところはやっぱり寺院で、バゴーは昔ながらの街並みが残っていて古い建物や神様が祀られているところがあります。

Q 名前の由来を教えてください。

A 夜、水面が月に照らされて美しい様子が語源となって、チー レ レ ウーと名付けられました。苗字はある人もない人もいますが、私はありません。

Q 日本で勉強・仕事をしようと思ったきっかけを教えてください。

A いとこのお姉さんが日本で勉強をしていて、「日本いいからおいで」と誘われました。

もともと日本も好きだったし、人のお世話をするのが好きなので介護の仕事を選びました。今は韓国も好きなので韓国語も少し勉強しています。

Q 休日は何をして過ごしていますか？

A 家でゆっくり過ごすこともあれば、福岡にひとりでショッピングに行ったり、嬉野にいるミャンマーの友達と遊んだりしています。ミャンマーには人に裸を見せる文化がないので、嬉野温泉には恥ずかしくて入ったことはありません。少人数であれば友達同士で入っている友達もいます。

Q 日本に来て家で作った郷土料理や日本料理はありますか？材料はどこで購入されていますか？

A 基本的に自炊をしています。ミャンマー料理も日本料理も作っています。ミャンマーのスパイスや材料は日本のスーパーで買えないので、一番辛い唐辛子を探して肉や野菜をミャンマー風の味付けにして食べています。日本の味に慣れてきたので、辛さに弱くなってきました。辛すぎるものを食べるとお腹



学園 FOCUS



チー レ レ ウー さん

からつ医療福祉センター
生活支援員

を壊してしまうこともあるので、ミャンマーに帰省した時に辛くて食べられないかもしれないと心配しています。日本の料理では牛丼やカレーを作ったことがあります。



Q 日本に来て驚いたことはありますか？

A 環境の差はそれ程感じませんでした。ミャンマーは浴槽がないので、日本に来て初めて湯舟に浸かりました。自転車や車は右側通行だったので、普段自転車移動しているので慣れるまで違和感がありました。

Q 日本に来てから家族との連絡はどうされていますか？

A 日本に来て約3年間、1度も帰国できていませんが、毎日母と電話しています。去年の5月に父が亡くなった時は帰りたいたと思いましたが、その当時はミャンマーが戦争の影響で、ミャンマーに行くことはできても日本に帰って来ることが難しかったので行けませんでした。父が亡くなり、母も仕事をしていないので、私の仕送りで家族は生活しています。仕送りでミャンマーに家を建てることもできました。



Q 日本でチャレンジしたいことや、今後の目標はありますか？

A もっといろんなところに遊びに行ってみたいし、福岡など都会にも住んでみたい。ミャンマーには帰らず、日本にずっと住みたいと思っています。佐賀では車がないと不便なので、車の免許も取りたいです。

前号から始まった「教えて!●●先生」。今号は最近耳にする消費税インボイス制度と佐賀整肢学園の取り組みについて紹介します

令和5年10月から消費税インボイス制度が導入されます。関連書籍が販売されている書店、TVCM や掲示ポスターなどで、なんとなく目に・耳にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか?「一般企業の話でしょ。うちは社会福祉法人だから関係ないんじゃない?」と思われるかもしれませんが、実は大アリなんです。

普段の生活の中で、モノを購入したときやサービスの提供を受けたときに消費税が取られています。佐賀整肢学園の主体である福祉サービスの収入は一般的に非課税ですが、その他にも消費税がかかる収入、いわゆる「課税売上」があります。佐賀整肢学園はその課税売上が1,000万円を超えているため、一般企業と同様に消費税を納めています。

消費税の納付額を計算する際に「相手(業者さんなど)に支払った金額」を集計しますが、今回の消費税インボイス制度の導入により、その集計方法が厳格化されます。結果、適切に消費税の納付額を計算するために、受け取った請求書の精査・分類が必要となり、経理処理の手間が増えることになります。

この消費税インボイス制度の導入に向けて、法人内各施設の会計担当者合同で勉強会を実施し、情報や事例を共有するためにメーリングリストを立ち上げました。今後も施設間で協力しあい、適切でスムーズな経理処理に努めていきたいと思います。



こども発達医療センター
総合相談室 地域サービス係
副主任

なかの けいた
中野 慶多

私は昔から極度の人見知りで、初対面の方はもちろん、面識のある方でも自分から話しかけることはなかなかできません。娘たちの学校や習い事で保護者の方たちと関わることがありますが、ほかの人に聞きたいことがあっても、「今話しかけていいのかな?」とか余計なことを考えてしまい結局聞けずに終わったり、保護者の集まりがあっても必要以上にエネルギーを使ってしまいます。常日頃、この人見知りの性格が少しでも改善できないかなと思っています。

私は現在、総合相談室で相談員として勤務しています。初対面の患者様や利用者様とお話することが多く、人見知りだから話せないなど言っていられない状況の中で、たくさんの人に助けをいただきながら日々仕事をさせていただいています。しかし、この仕事をしている中で、相談に来てくださっている方も同じ立場で、どんな相談員なのかわからない中で、勇気を出してお話ししてくださっている方も多いのではないかなと思うようになりました。いろいろな方と関わる中で、相手のことを知らないから人見知りが出てしまうのであれば、目の前の「人」を自分から知ろうとする姿勢を持つことで、その「人」に対して人見知りではなくなる努力をこれからも続けていこうと思っています。

NEXT...かんざき日の隈寮のあの人にバトンタッチ!!

令和5年5月～令和5年8月

協力ボランティア

- 【こども】 整肢学園友の会様、親和会様、佐賀清和高校様
- 【オークス】 佐賀清和高校様
- 【清流苑】 ビハール神埼様
- 【日の隈】 藤間静浄様

施設見学来訪

- 【こども】 白石町民生児童委員協議会37名様
- 【オークス】 西九州大学社会福祉学科55名様、金立特別支援学校4名様
- 【から・好・糸】 か) 唐津看護専門学校5名様、唐津市障がい者相談支援センター3名様、唐津特別支援学校51名様、伊万里特別支援学校10名様、大坪小学校1名様、長松小学校2名様、久里小学校1名様、松浦保育園1名様 好) 鳥栖市民生委員児童委員連絡協議会・児童福祉部会20名様 糸) 今津特別支援学校16名様、南風小学校2名様、生の松原特別支援学校2名様
- 【日の隈】 佐賀県経営協青年会23名様

実習生受入

- 【こども】 西九州大学リハビリテーション学科2名、大分リハビリテーション専門学校言語聴覚士科1名、柳川リハビリテーション学院言語聴覚士学科1名、西九州大学こども学科2名、佐賀大学医学部小児科1名、西九州大学短期大学地域生活支援学科2名
- 【オークス】 西九州大学社会福祉学科1名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科3名、佐賀女子短期大学地域みらい学科1名
- 【清流苑】 佐賀女子高校17名、九州医療専門学校1名、神埼清明高校7名、西九州大学社会福祉学科3名、佐賀女子短期大学地域みらい学科2名
- 【から・好・糸】 唐津看護専門学校16名、伊万里看護学校31名、福岡国際医療福祉大学理学療法学科1名、西九州大学子ども学科1名、西九州大学短期大学部幼児保育学科1名、聖徳大学社会福祉学科1名、福岡医療秘書福祉専門学校1名、熊本駅前看護リハビリテーション学院言語聴覚療養学科1名、福岡こども専門学校保育科1名、好) 西九州短期大学幼児保育学科2名、西九州大学子ども学科1名、佐賀女子短期大学こども未来学科1名
- 【日の隈】 神埼清明高校3名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科3名、西南学院大学社会福祉学科1名、西九州大学社会福祉学科2名

学園タイムス

表紙写真大募集!

学園タイムスの表紙を飾る写真を職員の皆さんから募集しています。佐賀県及び糸島市で撮影した写真であれば、風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事等、どんな写真でもご応募いただけます。下記QRコードからメールで簡単に応募可能です。



たくさんのご応募、お待ちしております。

見どころ

毎号、応募していただいた写真の中からの表紙選びは、どれも素敵な写真で悩みますが、身近にこんなに素敵な場所や風景があるのだと癒しと発見があり、とても楽しみにしています。暑さも和らぐ頃、お出かけの参考になることも!今夏は酷暑続きでしたが、各事業所で楽しく賑わっている声が聞こえてきそうな記事が満載です。ぜひお手にとってご覧ください。

